

2010
スカウトスキルオリンピック
-1級技能大会-
ガイドブック



日本ボーイスカウト神奈川連盟

開催の趣旨

県内の多くの1級スカウトが参加することにより大会を通じてスカウトが相互に刺激しあい、さらなる成長のきっかけを与えるとともに、参加指導者に対し自隊プログラムのブラッシュアップ、見学スカウトにはスキルアップのきっかけを与えることを目的とします。

テーマ

「より高く より早く より美しくースカウトスキル近代5種競技」

ー目指せスキル金メダル、目指せスーパー1級ー

開催日程

平成22年11月21日（日）8：00～16：00

開催場所と会場へのアクセス

横浜市緑区寺山町 291
四季の森公園

- ・電車利用の場合：
JR横浜線 中山駅下車
公園北口まで徒歩15分
- ・車利用の場合：
公園南口の駐車場(有料：
@500/1日)に駐車下さい。



競技参加資格

神奈川県連盟所属の1級以上（11月21日時点）のボーイ隊スカウト

※ 事前参加エントリーをお願いします。

見学者

指導者、スカウト、関係者の見学は自由です。

参加費

参加費は競技参加スカウトのみ500円/人を当日会場受付に納入する。

服装と持ち物

服装：

制服、制帽

持ち物：

- ① 昼食弁当②水筒③手旗④シルバーコンパス⑤ナイフ⑥軍手
- ⑦三角巾2枚⑧スカウトハンドブック⑨筆記用具
- ⑩ 交通費（JR中山までの往復分）⑪参加費 500円
- ⑫ その他必要な物

注意事項

- ・ 前日及び当日は検温し発熱している場合は参加せず、隊指導者に連絡すること。
- ・ スカウトのみ参加する際には事前事後に隊指導者に出発帰着を連絡すること。
- ・ 会場への往復移動時には交通安全に充分注意すること。
- ・ 競技中は大会実行委員の指示に従うこと。
- ・ プログラム中のケガや体調不良の際には大会実行委員に連絡すること。
- ・ 会場連絡用携帯電話 なかや 中谷実行委員長 090-1883-5598

大会スケジュール

時間	内容	場所
8:00~8:30	スカウト集合・受付	野外ステージ
8:30~9:00	開会式・グループ編成※	野外ステージ
9:10~10:00	第1種目競技	各種目別会場
10:10~11:00	第2種目競技	各種目別会場
11:10~12:00	第3種目競技	各種目別会場
12:00~12:40	昼食（持参弁当）	会場内
12:50~13:40	第4種目競技	各種目別会場
13:50~14:40	第5種目競技	各種目別会場
14:50~15:20	全体交流ゲーム	野外ステージ
15:30~16:00	表彰式・閉会式	野外ステージ
16:00	解散	

※ 参加スカウトをプログラム運営上5グループに分けます。

会場と競技会場配置図



- ① 野外ステージ横広場(組立) ②ピクニック広場(救急) ③ちびっこ広場(計測)
- ④展望広場(手旗) ⑤ワーク センター前(火起こし)

受付（時間：8:00～8:30、場所：野外ステージ）

- ・本部受付にて所属及び氏名を申告すること。
- ・参加費500円/人を納入すること。なるべく隊又は地区で纏めること。
- ・競技グループ（A～E）の指定を受けること。
- ・競技カード及びゼッケンを受領し着用すること。
- ・受付後は野外ステージ観客席(地区別表示)にて待機すること。

開会式（時間：8:30～9:00、場所：野外ステージ）

- ① 集合（地区別に整列集合）
- ② はじめのことば
- ③ 国旗掲揚
- ④ ソング「連盟歌」
- ⑤ 主催者挨拶
- ⑥ スカウト宣誓
- ⑦ おわりのことば
- ⑧ 競技内容及び注意事項説明
- ⑨ 競技グループ編成（A～Eグループ）

競技（9:10～12:00、12:50～14:40）

会場別競技スケジュール

競技名	①組立て	②救急	③計測	④手旗	⑤火起こし
会場	野外ステージ 横広場	ピクニック 広場	ちびっこ 広場	展望広場	ワークセンタ
9:10～10:00	A	E	D	C	B
10:10～11:00	B	A	E	D	C
11:10～12:00	C	B	A	E	D
12:00～12:40	昼 食				
12:50～13:40	D	C	B	A	E
13:50～14:40	E	D	C	B	A

グループ別競技スケジュール

グループ	A	B	C	D	E
9:10～10:00	①	⑤	④	③	②
10:10～11:00	②	①	⑤	④	③
11:10～12:00	③	②	①	⑤	④
12:00～12:40	昼 食				
12:50～13:40	④	③	②	①	⑤
13:50～14:40	⑤	④	③	②	①

昼食（12:00～12:40）

午前中の競技終了後、午前中最終競技広場付近にて昼食（持参弁当）をとること。

全体交流ゲーム（14:50～15:20、場所：野外ステージ）

競技終了後、参加スカウトを対象とした全体ゲームを実施します。

閉会式（時間：15:30～16:00、場所：野外ステージ）

- ① 集合（地区別に整列集合）
- ② はじめのことば
- ③ 競技別評価成績発表
- ④ 表彰（総合成績及び競技別成績優秀スカウトを表彰）
- ⑤ 「弥栄」三唱
- ⑥ 講評
- ⑦ 主催者挨拶
- ⑧ ソング「光の路」
- ⑨ 国旗降納
- ⑩ おわりのことば
- ⑪ 解散

☆閉会式終了後、地区ごとにまとめてゼッケンを本部に返却してください。

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目①「組み立て」ネーミング <明りを灯せ！>		
競技場所：野外ステージ横	進行担当者	県央地区 宮本
<p>指令：君たちは優秀なスカウトである。</p> <p>指定の材料で、20分以内に、競技ルールを満足する「ランタンスタンド」を製作せよ！</p>		
スカウト準備品：軍手、ナイフ、筆記用具		
<p>○競技の進行</p> <p>・競技説明(5分)</p> <p>ランタンスタンドを20分以内に作成する。使用するのを用意された竹材、麻ひも、個人で用意したナイフのみ。竹材は長さ120cm、90cm、60cm、30cmを用意。</p> <p>・準備(5分)</p> <p>各自必要とする材料を受け取り、作業場所へ移動する。(競技途中での竹材、麻ひもの追加は可能)</p> <p>・競技(20分)</p> <p>ランタンスタンドを作成する。「開始」の合図で着手し、「終了」の合図で、製作途中でも終了する。時間内に完成したら、その時点で、審査担当を呼び採点してもらう。</p> <p>・採点・後片付け(10分)</p> <p>完成した順に採点。採点終了後、作品を解体し、竹材を元の位置に戻す。</p>		
<p>○競技ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランタンスタンドを25分以内で作成する。条件を満たせば形は自由。 ・ランタン(1.5ℓペットボトルに水を入れたもの。高さ約30cm。重さ約1キロ)を掛けたとき、ランタン底が地面から50cm以上離れること。 ・竹材120cmのうち1本は予め作業場所に配置済み。1人当たりの使用本数最大は、120cm2本、90cm2本、60cm3本、30cm1本とする。 ・竹材及び麻ひもは必要数を準備時間中に、置き場所から各自で持って行く。競技中での追加も可能。 ・麻ひもは事前に切っておかない。 ・竹材にナイフ等で傷をつけてはいけない。 ・ランタンは完成後の審査時点で配布しセットしてもらう。 ・時間内にできた人は「できた」と審査員に申告する。 ・完成したと申告したが、ランタンが落下した場合、やり直しは認めない。 		
<p>○審査基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランタンをかけて30秒維持すること。時間に満たない場合は減点。25点満点。 ・ランタンが地面から50cm以上離れること。高さが満たない場合は減点。25点満点。 ・20分以内に完成させる。時間内に完成した場合は加点。20点満点。 ・工作物としての安定性、結びの正確さ、アイデアをそれぞれ採点。未完成の場合も採点対象とする。30点満点。 		

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目②「救急法」ネーミング <2級挑戦ハイクでアクシデント!?!>		
競技場所: ピクニック広場	進行担当者	横浜地区 若原琢磨、小林靖則
スカウト準備品: 三角巾(各自2枚持参を想定)		
<p>○競技の進行</p> <p>・競技説明(2分) 「2級挑戦ハイキングに引率で参加した時に起こったケガや疾病」に応急手当をすることを想定した競技です。 競技は二人一組で行います。一人が傷病者の役をし、交代で前後半に分けて行います。</p> <p>・競技①ハイキング中の疾病の手当て方法(6分) 筆記にてハイキングに起こり得る疾病について、正しい応急手当方法を答えてもらいます。</p> <p>・組分け(2分) 2人1組で行う競技のバディを指示します。</p> <p>・競技②三角巾による患部の包帯(14分) ハイキング中に引率したスカウトがケガをしたと仮定し、その個所を三角巾による包帯法で応急手当をしてもらいます。バディで交互に手当てを行うこととし、1人の持ち時間は5分です。持参した三角巾を用いてください。</p> <p>・競技③車道まで1人で患者を搬送(14分) 車道から離れた場所で引率したスカウトが動けなくなると仮定し、車道まで一人で搬送を行ってもらいます。バディで交互に搬送を行うこととし、1人の持ち時間は5分です。</p> <p>・成績集計・発表(5分) グループ全体のスカウトの採点結果を知らせます。(次の競技場所の指示も行う)</p>		
<p>○競技ルール</p> <p>競技①筆記(制限時間5分) ・カンニングしない。声を出さない。開始終了の合図に従う。</p> <p>競技②包帯法(制限時間5分) ・持参した三角巾を使用すること。(忘れたスカウトは予備三角巾を貸し出す)</p> <p>競技③搬送法(制限時間5分) ・患者の倒れている場所から指定場所を往復して元の位置に寝かせる。</p>		
<p>○審査基準</p> <p>競技①筆記 ・設問に対する選択方式なので、正答数が得点となる。</p> <p>競技②包帯法 ・三角巾の畳み方/折り方の正しさ ・結びの位置の正しさ/本結びになっていること/緩まないこと ・末端処理の確かさ ・傷病者に対する気遣い ・開始から終了までの態度等、取り組みへの印象</p> <p>競技③搬送法 ・「ボーイスカウト救急法」に記載の搬送法であれば、手順などが正しいこと ・上記以外では工夫の様子を評価(患者に負担がかからないか? 搬送の目的が達成されているか?) ・患者を落とさないこと。また、引きずらないこと。 ・ある程度の距離を搬送できると判断できること(1Km程度を無理なく運べそうか?)</p>		
<p>【備考】スカウトハンドブック、「ボーイスカウト救急法」、「赤十字救急法講習教本」などに掲載の三角巾による包帯法の例を参考にして下さい。</p>		

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目③「計測」 <目標地点へ到達せよ！>		
競技場所：ちびっこ広場	進行担当者	横浜みなと地区 池田 川口
スカウト準備品：シルバーコンパス		
○競技の進行 ①競技説明（7分） コンパスと歩測により、指示書に示された場所に移動する。 正確さと要した時間により、評価を行う。 ②競技準備（8分） 各自の歩測確認を行う。地面にメジャーを準備するため、それを用いて確認してもよい。 ③競技（10分） 審査員の合図で開始。 終了者は成績担当に自分の所要時間を報告する。 ④測定（10分） 指定された場所と到達した場所との誤差を測定する。 ⑤集計・評価（5分）		
○競技ルール <ul style="list-style-type: none">・課題用紙、記録提出用紙、ピンペグ、ストップウォッチを渡す。・課題用紙に書かれた課題番号と同じ番号の地点がスタート位置となる。・スタート合図とともに、ストップウォッチを押し、時間を計る。 指示書に従い、目標地点に向かって移動を開始する。・目標地点に到達したら、ストップウォッチを止め、ピンペグをその地点に挿す。・かかった時間を記録提出用紙に記入する。		
○審査基準 <ul style="list-style-type: none">・移動の正確さ(距離)と時間によって審査します。 <p>※スカウトには以下の点をお願いする</p> <ul style="list-style-type: none">・競技時間を守る。競技途中であっても、時間が来たら終了となる。・ピンペグを挿していないスカウトは、終了時間にいた場所に挿す。・ストップウォッチが動いていなかったり、途中で止まってしまったりなど、トラブルがあった場合は、時間記録は最大の10分となるため、注意すること。・ストップウォッチを止め忘れ、しばらくして気がついて止めた場合は、止めた時の時間が記録となる。・ストップウォッチの扱いに注意すること。(競技前に操作方法を教えます)		
【備考】必要とされる技能と知識は スカウトハンドブックをよく読み、参加し、一番を目指して下さい。		

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目④「手旗」ネーミング <重要信号を解読せよ>

競技場所: 展望広場周辺	進行担当者	横須賀地区 佐々木
--------------	-------	-----------

スカウト準備品: 筆記用具

○競技の進行

・説明(5分)

「手旗信号の筆記受信をしてもらいます。数字も濁点も半濁点も入ります。一問目は、意味のない文章約30文字、二問目は、意味のある文章約30文字です。答え合わせは問題ごとに行いますが、やり方は後で指示します。最初に練習してから本番に入ります。

・準備(5分)

練習問題の出題「○○○○○○○○○○」

・競技(20分)

一問目発信「………」 受信文修正時間2分

答え合わせ「全員円形に集合、右隣の人に自分の受信用紙を渡してください。正解を言います。」

「正解だったらその文字を ○ してください。終わったらその○の数を右下に書いてください。」

二問目発信「………」 受信文修正時間2分

答え合わせ「全員円形に集合、右隣の人に自分の受信用紙を渡してください。正解を言います。」

「正解だったらその文字を ○ してください。終わったらその ○ の数を右下に書いてください。」

・採点・後片付け(10分)

成績担当に自分の受信用紙を提出する。各問題一字1点評価で満点だと30点で点数集計を実施する。

各問題全て正解時に加点 10 点、

全問正解最高得点 80 点満点

○審査基準

各問題一字1点評価で満点だと30点で点数集計を実施する。

各問題全て正解時に加点 10 点、

全問正解最高得点 80 点満点

○その他

スカウトハンドブックを事前に確認しておいてください

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目⑤「 焚き火 」 ネーミング <天まで燃やせ>		
競技場所: ワークセンター前	進行担当者	湘南地区 宇都宮・佐々木
スカウト準備品: 軍手、【手入れのされた】ナイフ (ロック機能のあるものが望ましいです)		
<p>○競技の進行</p> <p>①競技説明 (5分) 整列、点呼、ルール説明、刃物と火の危険性の説明</p> <p>②火起こし準備 (10分) スカウトに薪を支給する。 薪を割るなど準備をする。刃物の使い方が未熟なスカウトには、アドバイスをする。</p> <p>③競技 (20分) 審査員の合図で開始、 終了者は成績担当に自分の所要時間を報告する。</p> <p>④成績集計 (5分) 全スカウトの採点および結果を知らせる 片付け、整列、次の競技へ</p>		
<p>○競技ルール</p> <p>マッチ 2 本以内で直径 14cm 高さ 14cm のペール缶内の中で火を起こし、ヒモを焼き切る。 薪組の高さは缶の高さからできるだけはみ出さないようにする。薪は長さ 15cm の杉材を 1 本のみ支給する。 地面からヒモまでの距離は約 30 cm。 道具は ナタと個人装備のナイフのみ使用可能。 刃物を扱う際には周囲の安全に充分注意すること。スタート前に「たきつけ」の準備をする。 スタートの合図で薪を組むところから始める。タイムリミットは 20 分。タイムレースです。 時間内にヒモを焼き切ったら、起立し「ゼッケンNo.と名前」を言って下さい。 スタッフが確認し、タイムを読み上げます。 もし、マッチ 2 本使ってしまった場合は、マッチを 1 本ずつ 配給します、 スタッフに ゼッケンと名前を伝えて もらうこと。 ※準備時間内では、薪割り等刃物を使用する準備までを行います。時間は計測しない。</p>		
<p>○審査基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き切った時間 (基本点の80%くらいの予定) ・マッチの本数 1~5本 (基本点の20%くらいの予定) ・終了時点での火のついた状態 (燃焼 50 点・半燃 30 点・くすぶり 10 点)位の間接点をつける。 100点満点での配点を予定。配分については後日、正式決定します。 <p>※得点範囲ではないが、スカウトには以下の点をお願いする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刃物と火が「危ないもの」と理解してもらう ・無理をしない ・時間を守る ・ルールを守る ・声を出す ・片付けをする ・チームのことを考える 		
<p>【備考】必要とされる技能と知識は スカウトハンドブック P188~ をよく読み、参加し、一番を目指して下さい。</p>		

【競技チェックシート】

グループ	A	B	C	D	E
第 1 種 目 9:10～	①組立	⑤火起し	④手旗	③計測	②救急
第 2 種 目 10:10～	②救急	①組立	⑤火起し	④手旗	③計測
第 3 種 目 11:10～	③計測	②救急	①組立	⑤火起し	④手旗
第 4 種 目 12:50～	④手旗	③計測	②救急	①組立	⑤火起し
第 5 種 目 13:50～	⑤火起し	④手旗	③計測	②救急	①組立